

患者の一斉検診開始

水俣市立病院 水俣病の診断資料作る

水俣市立病院（大橋登院長）は八日から水俣病患者の一斉検診を始めた。これまで一部の患者の診断資料しかなかったため、同病院ではこのほど院内に「水俣病研究

班」（班長・大橋同院長）を組織、熊本医学部の協力を得て、総合診断を行なうことになったもの。検診は神経学的な一般検査、内臓の機能検査、レントゲン検査な

どを内容とし、これから三月末にかけて患者六十九人を全員診察する。費用は国の補助二百万円が当てられる。初日の八日は、まず六人

の患者が入院、三日間にわたり検査を受ける。全員の資料がそろそろ、個人の症状に応じた特別治療や、今後の追跡調査などに役立つものとみられている。